

ここが危ない！ 子どもたちの安全を守るために

大阪市立市岡東中学校長 西 村 誠

期末テストや懇談も終わり、あと少しで夏休みだとゆるんだ雰囲気があふれているときこそ、犯罪者は「あなた」を狙い始めているのです。

「私は、夜に外に出ることもないし…」とか「みんなと一緒に家に帰っているし…」とか
安心していませんか。

犯罪者は、犯罪を犯し、無事に逃げ切るために

「あなたより必死に考えています」「そのことしか考えていません」

勉強のこと、進路のこと、友だちのこと、今日、見る番組のこと…などいろんなことを考えながら生活しているあなたは、犯罪者に今のままでは太刀打ちできません。

では、身を守るためにはどうしたらよいのでしょうか。

1 狙われるところや時間にその場にいない。

2 狙われることを想定し、犯罪者を寄せ付けないようにする。

つぎは、その対策の例です。よく読んで、自分だけでなく、友だち、妹…などにも注意できる知識を持ってください。

さあ、始めましょう。

ある場所から家に帰ると考えてください。「自転車に乗っているので大丈夫」と考えないでください。家の部屋の中まで自転車に乗って入っていきません。

危ない！ 自転車置き場

家までついたという安心感がスキを作ります。自転車置き場は犯罪者が第一に狙いをつける場所です。自転車を止め、鍵をかけることに気を取られ、後ろや周りが見えません。雨よけの屋根が上からの住民の目をさえぎります。

必ず、周りに不審者がいないか。万一の場合の逃げ場所を考えておきましょう。また、防犯ブザー(無ければ笛でも良い)があれば手にもって自転車置き場に入りましょう。

◆ 保護者の方も自転車置場の様子(暗くないか、不審者が隠れやすいところはないか)を確認しておきましょう。

自転車置き場は無事だった。でも、安心しないで。エレベーターに乗るとしたら…
エレベータホールに誰かいいるかな。「いない」でも、途中で誰かが乗ってきたら…「あつ」

危ない！エレベーターの中

ホールに誰もいないから安心と思わない。犯罪者は物陰に隠れていて、あなたがエレベーター内に一人だと分かるとドアの閉まる瞬間を狙います。びっくりして後ずさりしてはダメです。非常ベルや各階のボタンを押せる位置に、後ろから襲われないように**壁を背にして乗るようにします。**

乗る前には不審な人がいないか確かめ、怪しい人と二人で乗ることは絶対に避けましょう。二人きりになってしまった時は、ボタンを全部押して止まった階で降りましょう。

じゃあ、階段で行こう。3階程度だから
でも、誰かが待ち伏せしていたら…「ひっ～」

危ない！階段の踊り場

踊り場には、いろんな人が喫煙のために隠れています。かえって危険ですからエレベーターを安易に避けて階段でとは考えないでください。また、団地やマンションの非常階段は声がこもって叫んでも聞こえないところが多くあります。

家の前まで到着。もう安心。そうですか。「あなたの後ろに誰かいませんか？」

危ない！ドアを開ける瞬間

自宅ドアの入り口付近に人が隠れることの出来るものを置いていませんか。常に整理整頓して、見晴らしよくしておきましょう。また、**ドアを開ける前に必ず周りを見渡しましょう。**

犯罪者は、あなたの部屋を知っています。だから、あなたより一階下でエレベーターを降りて、階段を駆け上りあなたがドアを開けた瞬間、後ろから襲いかかります。

だから、家の中に誰もいなくても「ブザー」を鳴らしてから、鍵を開けるときには「ただいま。今帰ったよ」など言いながら入るようにしましょう。

家に入り、ドアの鍵も閉めました。こここそ世界一、安全な場所。

そうですか。だれも尋ねて来ませんか。赤頭巾ちゃんの童話を思いだしてください。

危ない！業者を装った訪問客

犯罪者は、何とかあなたが一人でいる部屋に入り込もうと悪い知恵をしぼります。「隣に住んでいる人の荷物を預かってもらえませんか」「マンションの水漏れの定期検査です」「〇×百貨店からの荷物が届いています」「郵便局です。小荷物をお届けにあがりました」

部屋の中にあなた一人のときは、居ないふりをして**「絶対にドアを開けないでください」**

ドアスコープ(ドアについているのぞき穴)で相手を見て、不安な時は出ないようにしましょう。(制服を着ているからと安心しないでください)

万一、ドアを開ける場合はドアのチェーンがあれば外さずに、さらに手などを持たれないように少しドアから離れてください。

「印鑑がいるので開けてください」と言われても「チェーンを外さないでください」さらに相手が開けるように何度も言うようなら「110番通報をしてください」

さあ、今日も何もなく家に着いた。テレビを見ていると眠たくなってきた。「寝よう」待って! 戸締りは…

危ない ! 窓の鍵がかかっていない

私の家は2階だから大丈夫と思わないでください。何度も言いますが犯罪者はあなた以上に必死に考え、下見をし、どこからか入ることができないかを調べ、そのための道具まで準備しています。必ず、すべての窓のかぎをしめてください。

あ～あ、よく寝た。さあ、起きて勉強しよう。親もまだ仕事から帰っていないし…突然、電話。

危ない ! 突然の緊急電話

「あなたのお母さんが会社で倒れたのですぐに○×病院に行ってください」

絶対にドアを開けて飛び出さないでください。ドアの外で犯罪者があなたが鍵を開けるのを待っています。

家の電話が置いてあるところに家族の連絡先と電話番号を紙に書いて貼っておきましょう。携帯電話があるから…と思わないでください。

そんな電話があったら必ず、保護者の会社などに電話をして確認してください。

「電話があったとき、病院の電話番号を聞けば…」と思っていても犯罪者は聞かれないよう電話をしてきます。

会社に電話をしても通じない場合は、他の誰かに電話をして事情を話し、家に来てもらいましょう。

保護者の方へ

夏休みは、気分が高揚する時期です。心にスキの出る時ともいえます。犯罪から子どもを守る第一歩は、危険なところに居ないことです。そのためにも

- 1 夜間の外出は、必要最小限とする。
- 2 帰宅時間を確認しておく。
- 3 帰宅する道順を保護者の方も知っておく。
- 4 夜間の場合は、できる限り迎えに行く。塾などの場合は、同じ塾の人と親同士グループを作り、誰かが迎えに行くようする。
- 5 夜にコンビニなどに行くことは避ける。

※ 万一の時に備えて、「携帯電話を持たせてあるから」と安心しないでください。犯罪者は、あなたのお子さんを捕まえたらすぐに携帯電話など取り上げ、捨ててしまいます。
さらに再度、次のことを確認してください。

A 緊急連絡先の確認

保護者の方に子どもがすぐに連絡を取れるように、万一、そこに電話していない場合は、どこに連絡すればよいかを互いに確認しておきましょう。
また、自宅の住所・電話番号・保護者の職場などを家の目立つ所に書いて貼っておきましょう。突然のとき、気が動転していると自分の住所も電話番号も言えないもので
す。

B 家の周りの確認

家に入るところに人が隠れるができるような「死角」がないか確認しておきましょう。特に自転車置き場などに注意してください。

C 防犯ブザーまたは笛を持たせましょう

万一の時に助けを呼ぶ手段として「防犯ブザー・笛」を外出する時には持たせるよう

にしましょう。

D 普段から大きな声で挨拶をさせましょう

人は「声が出れば体が動きます。声が出なければ体がすくみ動けません」
普段から、ご家庭でも大きな声で近所の人に挨拶をするようにご指導ください。それがいざというとき子どもの命を守ります。

【保護者の方へ 地域社会でいさつをするようにしましょう。】

特にマンション内で見知らぬ人に出会ったときも「こんにちは」「ご苦労さんです」とあいさつしましょう。犯罪者は挨拶をされるのを最も嫌います。顔を見られたと思うからです。だからあいさつが良く行われているところは犯罪も少ないものです。